

～iPS細胞+AIによる個別化予防の実現に向けて～

# 幹細胞を用いた化学物質リスク情報共有化コンソーシアム 第三回scChemRISC研究会

## 安全性評価における トランスクリプトームの現状と可能性

**日 程** 2021年10月12日 (火)

**会 場** オンライン開催

**世話人** 上月 裕一 (株式会社資生堂)

### プログラム概要

#### ◆ 特別講演

山田 弘 (国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所)

「トランスクリプトームデータを活用したComputational Toxicology Toolの開発」

Anne Riu (L'Oréal S.A. Research & Innovation)

「Integrating biological profiling using transcriptomic data into the NAMs for systemic toxicity evaluation」

#### ◆ 研究発表

夏目 やよい (国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所)

「トランスクリプトームデータからの毒性発現メカニズム推定と安全性評価」

水野 忠快 (東京大学大学院薬学系研究科)

「トランスクリプトームプロファイルデータに基づく化学物質の複合的作用の数値化」

#### ◆ コンソーシアム現状と課題

#### ◆ コンソーシアム今後と可能性

### 〈参加登録〉

会員：7,000円

一般：10,000円

学生：無料 (学生証確認)

**事前参加登録〆切：2021年9月10日 (金)**

詳細・参加登録はこちらから：



<https://scchemrisc2021kenkyukai.stemcellinformatics.org>



幹細胞を用いた  
化学物質リスク情報共有化コンソーシアム  
Stem Cell-based Chemical Risk Information Sharing Consortium (scChemRISC)